

MAENAN SAH Journal Vol.29

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ JAN. 25TH, 2024

令和5年度 第1回SAH非認知能力アンケート結果速報 (2024.1.15配信、2024.1.22回答〆切)

★校長より★

4月にSAHの指定を受けてから10ヶ月が経過した。先生方には「慌てることはない。できることから始めよう」、生徒諸君には「ああしたい、こんなことができたら良いなと思ったら声を出そう。校長室で待つ。」と話してきました。今回は、非認知能力に関するアンケート結果の特集です。これを見てどう捉えるかは人それぞれだと思います。私は『高い、身につけたい』と考えている前南生が、既にこんなに多数いるんだと嬉しく思いました。今後、ますます増えていくことが期待できるし、楽しみで仕方がない。焦らず、慌てず、ゆっくりで良いから行動してみましよう。「ん～、今号を見ていたら何だか無性にドーナツが食べなくなった。」これは、ミスの福袋に入っていたチケットを使うチャンスだ。 関根 正弘

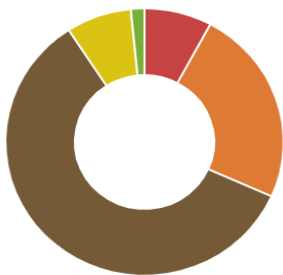
★教頭より★

1/22日に回答を締め切ったばかりのホヤホヤの結果速報を公開します。「考察」については速報版です。今後じっくり検証していきます。まずは、本校の生データをそのまま公開します。本校生徒が真摯に向き合い、回答していただいた様子がデータにも現れています！次回の結果との比較も楽しみです！ 星野 亨

<参考>設問1 あなたの学年を教えてください。

<参考>設問2 あなたのクラスを教えてください。

設問3 SAHの目的である『自分で考え、判断し、行動できる力』について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。



- 選択肢1 30人(7.85%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢2 91人(23.82%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢3 226人(59.16%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢4 29人(7.59%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢5 6人(1.57%) 低い方だと思う (5段階の1)

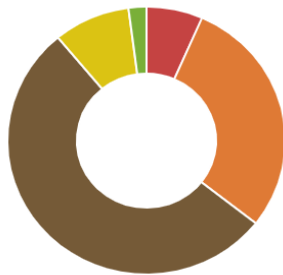
全学年平均	3.29
1年	3.29
2年	3.29
3年	3.33

- *全学年 381人
- *1年 189人
- *2年 189人
- *3年 3人

<考察>

- ・121人が高いと評価している。
- ・学年に差がない。
- ・1年目としては評価したい。
- ・次年度の数値と比較したい。

設問4 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。①目標を持って主体的に取り組める力



- 選択肢1 25人(6.54%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢2 111人(29.06%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢3 204人(53.4%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢4 34人(8.9%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢5 8人(2.09%) 低い方だと思う (5段階の1)

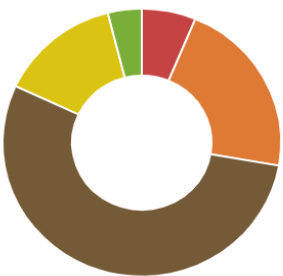
全学年平均	3.29
1年	3.34
2年	3.23
3年	4.00

- *全学年 381人
- *1年 189人
- *2年 189人
- *3年 3人

<考察>

- ・136人が高いと評価している。
- ・3年が高いが、対象人数が少ない。
- ・3年は受験体験が影響？
- ・2年より1年が高い理由は？
- ・次年度の数値と比較したい。

設問5 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。②学びに向かう力(主体的に学ぶ力)



- 選択肢1 24人(6.28%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢2 82人(21.47%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢3 207人(54.19%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢4 54人(14.14%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢5 15人(3.93%) 低い方だと思う (5段階の1)

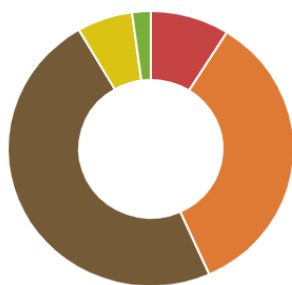
全学年平均	3.12
1年	3.05
2年	3.18
3年	4.00

- *全学年 381人
- *1年 189人
- *2年 189人
- *3年 3人

<考察>

- ・106人が高いと評価している。
- ・3年が高いが、対象人数が少ない。
- ・3年は受験体験が影響？
- ・2年は3学年0学期が影響？
- ・次年度の数値と比較したい。

設問 6 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。③ 困難を乗り越える力



- 選択肢 1 34人(8.92%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢 2 131人(34.38%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢 3 184人(48.29%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢 4 24人(6.3%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢 5 8人(2.1%) 低い方だと思う (5段階の1)

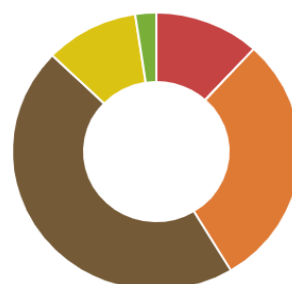
全学年平均	3.42
1年	3.38
2年	3.45
3年	4.00

*全学年 381人
*1年 189人
*2年 189人
*3年 3人

<考察>

- ・165人が高いと評価している。
- ・3年が高いが、対象人数が少ない。
- ・3年は受験体験が影響？
- ・1、2年ともに数値が高い。
- ・次年度の数値と比較したい。

設問 7 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。④ 粘り強く取り組む力



- 選択肢 1 45人(11.78%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢 2 113人(29.58%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢 3 175人(45.81%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢 4 40人(10.47%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢 5 9人(2.36%) 低い方だと思う (5段階の1)

全学年平均	3.38
1年	3.37
2年	3.38
3年	4.33

*全学年 381人
*1年 189人
*2年 189人
*3年 3人

<考察>

- ・158人が高いと評価している。
- ・3年が特に高いが、対象人数が少ない。
- ・3年は受験体験が影響？
- ・1、2年ともに数値が高い。
- ・次年度の数値と比較したい。

設問 8 次の非認知能力のなかで、あなたの能力が『平均値よりも高い』と自己評価できるものをすべて選択してください（複数選択可能）。

高いと思う	非認知能力	低いと思う
199	④親和力（円滑な人間関係を築く力）	64
190	⑤協働力（周囲の人たちと協力的に業務を進める力）	39
151	⑦感情制御力（自分の気持ちの揺れをコントロールする力）	88
145	⑬交渉力（相手と話し合い、合意点を探る力）	43
129	⑫柔軟性（変化に適応する力）	70
127	⑧自信創出力（ポジティブな考え方やモチベーションを維持する力）	106
124	⑮ストレスコントロール・楽観性・鈍感力（気に病まず、ものごとを進める力）	118
103	①課題発見力（問題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う力）	87
98	⑩レジリエンス（失敗や困難から立ち直る力）	77
88	⑪創造力（あたらしいものを作り出す力）	111
85	②計画立案力（問題解決のための効果的な計画を立てる力）	153
81	③実践力・実行力（計画に沿った実践・行動する力）	160
63	⑨行動持続力（よい行動を習慣化させる力）	138
57	⑭発信力・発表力（自分の意見や考えをわかりやすく発表する力）	132
52	⑥統率力（目標に向かって組織を動かす力）	111

<考察>

- ・「親和力」「協働力」「交渉力」など、他者と関わる力が高い生徒が多い。
- ・「感情制御力」「柔軟性」「ストレスコントロール」など、自らと向き合う力が高い生徒が多い。
- ・次年度の数値と比較したい。

設問 9 『設問 8 の選択肢以外の非認知能力』で、『あなたの自己評価が高いもの』を『ひとつ』記入してください（なるべく世間で認知されている名称で記入）。

<記載例>

理解力	考察力	想像力	観察力
忍耐力	効率よく物事を進める力	受験への意識	会話力
適応力	客観的思考力	自己肯定感	ユーモア

<考察>

- ・人間関係を円滑にするためには、ユーモアという観点も必要だと考える生徒がいる。

設問 10 次の非認知能力のなかで、あなたの能力が『平均値よりも低い』と自己評価できるものをすべて選択してください（複数選択可能）。

高いと思う	非認知能力	低いと思う
81	③実践力・実行力（計画に沿った実践・行動する力）	160
85	②計画立案力（問題解決のための効果的な計画を立てる力）	153
63	⑨行動持続力（よい行動を習慣化させる力）	138
57	⑭発信力・発表力（自分の意見や考えをわかりやすく発表する力）	132
124	⑮ストレスコントロール・楽観性・鈍感力（気に病まず、ものごとを進める力）	118
52	⑥統率力（目標に向かって組織を動かす力）	111
88	⑪創造力（あたらしいものを作り出す力）	111
127	⑩自信創出力（ポジティブな考え方やモチベーションを維持する力）	106
151	⑦感情制御力（自分の気持ちの揺れをコントロールする力）	88
103	①課題発見力（問題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う力）	87
98	⑩レジリエンス（失敗や困難から立ち直る力）	77
129	⑫柔軟性（変化に適応する力）	70
199	④親和力（円滑な人間関係を築く力）	64
145	⑬交渉力（相手と話し合い、合意点を探る力）	43
190	⑤協働力（周囲の人たちと協力的に業務を進める力）	39

<考察>

- ・「実践力」「行動持続力」「発信力」「統率力」など「実際に行く」能力を低いと判断している生徒が多い。
- ・ストレスコントロールについては、個人による差が大きい。
- ・自信創出力についても、個人差が大きい。
- ・統率力（リーダーシップ）が低いと判断している生徒が多いのは、経験不足からか？

設問 11 『設問 10 の選択肢以外の非認知能力』で、『あなたの自己評価が低いもの』を『ひとつ』記入してください（なるべく世間で認知されている名称で記入）。

<記載例>

判断力	他人に共感する能力	意欲	失敗から次に活かすこと
忍耐力	数学力	自己認識	計画性
体調管理	集中力	自己肯定感	

<考察>

- ・「共感力」という観点も現代社会では必要と考える生徒がいる。

設問 12 あなたが自分の非認知能力を高めることができていると思う『場面』を選択してください（複数選択可能）。

できている	非認知能力を高める場面	できていない
241	④部活動	21
171	①授業	116
162	⑥学校行事（準備期間含む）	34
137	②休み時間	73
93	⑦自主学習中	97
87	⑩休日	140
84	⑨帰宅後	136
69	③放課後	56
58	⑤生徒会・委員会活動	54
37	⑧塾	52

<考察>

- ・「部活動」「学校行事」「休み時間」という自由度の高い場面は想定内だが、「授業」が高める場面になっている背景には、教員が「チョーク&トーク型」ばかりではない授業を工夫して展開していることが理由か？
- ・「塾」を選択する生徒が少なかったこととの対比が興味深い。「塾」は「教わる」という形態が強い？

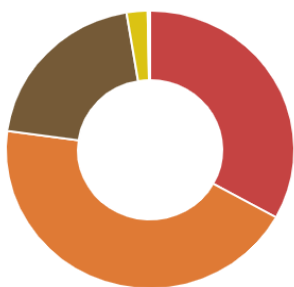
設問 13 あなたが自分の非認知能力を高めることがあまりできていないと思う場面を選択してください（複数選択可能）。

できている	非認知能力を高める場面	できていない
87	⑩休日	140
84	⑨帰宅後	136
171	①授業	116
93	⑦自主学習中	97
137	②休み時間	73
69	③放課後	56
58	⑤生徒会・委員会活動	54
37	⑧塾	52
162	⑥学校行事（準備期間含む）	34
241	④部活動	21

<考察>

- ・「休日」「帰宅後」という「自分に権限がある場面」が有効に活かせていない。
- ・「授業」では、「教員の指示待ち」に頼っている生徒も多い？
- ・「自主学習」「放課後」については、ほぼ同数。自由度が高いのに活かせていない。

設問 14 今後もあなたは『非認知能力』を意識し、高めていきたいと思いませんか？



選択肢 1	126人(33.07%)	強く思う
選択肢 2	168人(44.09%)	まあまあ思う
選択肢 3	77人(20.21%)	思う
選択肢 4	9人(2.36%)	あまり思わない
選択肢 5	1人(0.26%)	思わない

全学年平均	4.07
1年	4.14
2年	4.00
3年	4.33

*全学年	381人
*1年	189人
*2年	189人
*3年	3人

*強く思う→5と換算
 まあまあ思う→4と換算
 思う→3と換算
 あまり思わない→2と換算
 思わない→1と換算

<考察>

- ・評価を1～5に設定した設問と比較するために、この回答を1～5に換算したところ、すべての学年の回答の平均値が「4」を超えた。
- ・上位2項目を選択した生徒は、294人。「思う」を選択した生徒を含めると、371名（97.37%）に達する。
- ・他の設問の現在の自分の非認知能力の評価の平均が「4」を超えていないことから、真摯に評価している証だと判断したい。
- ・また、「今後」の取組と意識に期待が持てると思われる。次年度の数値と比較したい。
- ・今年度、生徒に「非認知能力を高める必要性」を訴えてきた結果としては、評価できる結果だと判断したい！